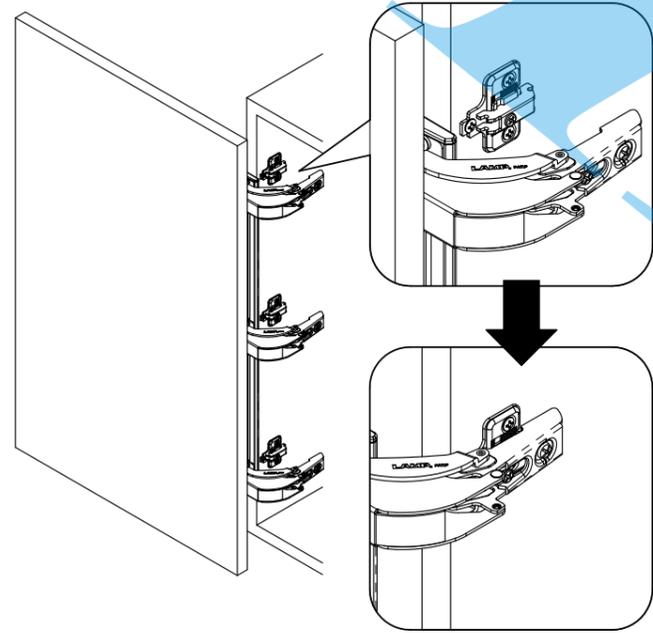
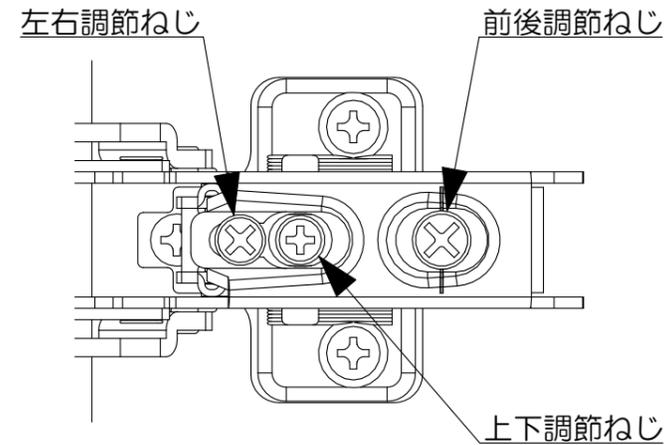


- ⑥ 扉にハンドル（お客様手配）を取り付ける。  
●ハンドルが必要な際には、扉にハンドルを取り付けてください。

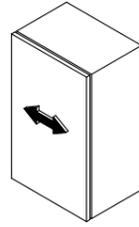
- ⑦ 座金にヒンジ本体を取り付ける。  
●キャビネットの側板に取り付いている座金に、扉を取り付けたヒンジ本体を取り付けてください。（本体を座金にかぶせるようにして押し込んで、確実に取り付けてください。）  
●取り付けは上から順に行い、すべてのヒンジ本体を取り付けるまで、ヒンジ本体に負荷がかからないようにしてください。



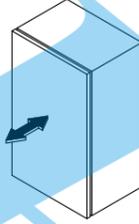
- ⑧ 扉の調整を行う。  
●扉の調整を行う際は、必ず全てのヒンジを調整してください。（一部のヒンジのみで調整を行うと、他のヒンジに無理な力がかかる恐れがあります。）



- 扉の左右調整  
・左右調節ねじを左右に回して、扉を左右に動かしてください。



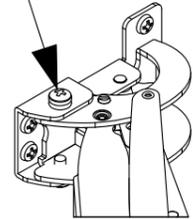
- 扉の前後調整  
・前後調節ねじを緩め、扉を前後に動かし、ねじを締め直してください。



- 扉の平行調整  
・平行調節ねじ（ヒンジ本体の表裏にあります）を緩め、扉をキャビネット端面と平行になるように動かし、ねじを締め直してください。



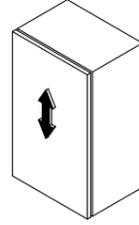
表側 平行調節ねじ



裏側 平行調節ねじ



- 扉の上下調整  
・上下調節ねじを緩め、扉を上下に動かし、ねじを締め直してください。



※最後に前後調節ねじ、上下調節ねじ、平行調節ねじが確実に締まっていることを確認してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせください。

アーキテクトサポート室 電話番号 03(3864)1122  
受付時間 月～金 9:00～17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)  
FAX 03(3863)6875  
E-mail: support@sugatsune.co.jp  
東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

建築金物・家具金物・機構部品  
**スガツネ工業株式会社**  
ISO 9001 (JSAQ384)・ISO 14001 (JSAE597) 審査登録  
※ISO 14001: 千葉工場 千葉工場および販売部  
ホームページ <http://www.sugatsune.co.jp/>  
新製品の情報、会社情報など最新情報を提供しております。

2009.09 PRINTED IN JAPAN 0318-1

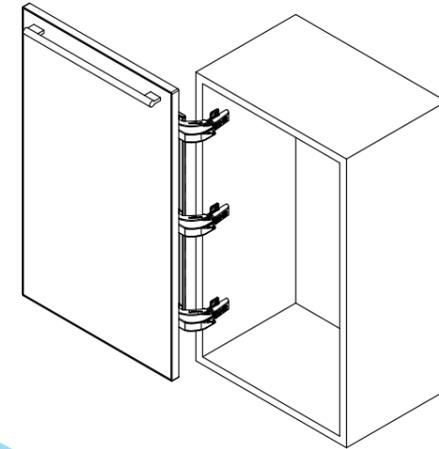
LAMP  
by SUGATSUNE

# MonoFlat LIN-X hinge®

## モノフラット LIN-X450 軽量扉用 PAT.P 取付説明書

フリータイプ

このたびは、モノフラット LIN-X450をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。取り付け前に本書をよくお読みのうえ、正しく取り付けいただきますようお願いいたします。



<ヒンジ3個使い使用例>

### 注意

- 本書の説明および注意事項を必ずお守りください。誤った取り付けは、作業時だけでなく使用時に扉が脱落するなどして、ケガをするおそれがあります。
- 本製品の取り付けには、キャビネットおよび扉の強度を確認した上で、仕様に見合うねじを使用し、確実に固定してください。
- 仕様外の扉寸法、扉重量への使用はおやめください。
- 装置の分解・改造は決して行わないでください。

### 仕様（使用可能扉）

扉幅	400～500 mm
扉高さ	600～2400 mm
扉厚	15～24 mm
扉重量	17 kg 以下（扉1枚当り）

●扉高さおよび扉重量の組み合わせ制限（○印：使用可能扉）および 扉重量とヒンジ使用個数、扉高さとの対応目安表

扉重量	ヒンジ使用個数	扉高さ					
		600～900mm	901～1200mm	1201～1500mm	1501～1800mm	1801～2100mm	2101～2400mm
～7.0kg	2個	○	○	○			
～10.5kg	3個	○	○	○	○	○	
～14.0kg	4個		○	○	○	○	○
～17.0kg	5個			○	○	○	○

※ ○印のない組み合わせの扉に使用する際は、弊社アーキテクトサポート室までお問い合わせください。

### 部品の構成

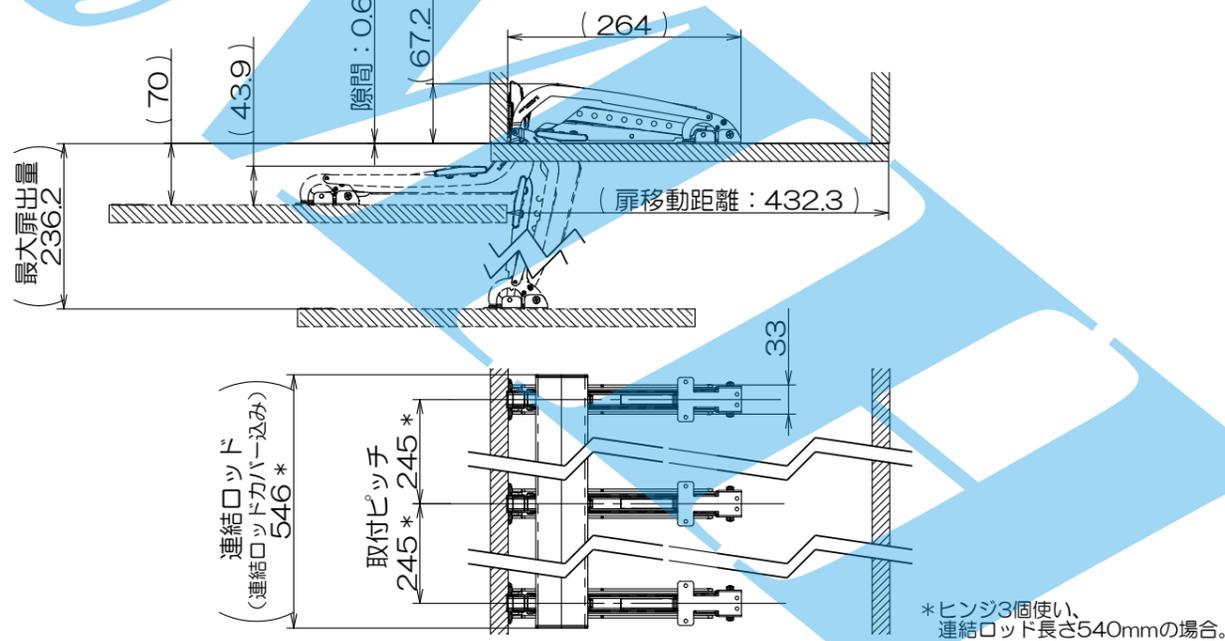
●お使いになる扉や棚の仕様により、連結ロッドの長さや、使用する部品の数量を選定してください。

①ヒンジ本体 ……2～5個 ※ヒンジ本体には、C（キャッチ）・D（ダンパー）機能付きとC・D機能なしの2種類があります。	②カップカバー ……ヒンジ本体と同数個	③十字穴付バインドタッピンねじ 3.5×15 ……ヒンジ本体1個につき4本
④座金 ……ヒンジ本体と同数個	⑤十字穴付丸皿タッピンねじ 3.5×15 ……座金1個につき 3本	⑥連結ロッド ……1本 (長さは仕様により異なります)
別売	別売	別売
⑦連結ロッドカバー ……2個	別売	別売

※ 本書では「ヒンジ3個使い、連結ロッド長さ540mm、取付ピッチ245mmの場合」を例に挙げて図示しております。実際の部品使用数量、連結ロッド長さ、取付ピッチなど（図中に\*印を付記）は、お使いになる扉や棚板の仕様により図と異なる場合があります。

## ■外形図 (単位: mm)

●図は向かって左側に扉が開く場合の例です。(右開きの場合は左右対称になります。)



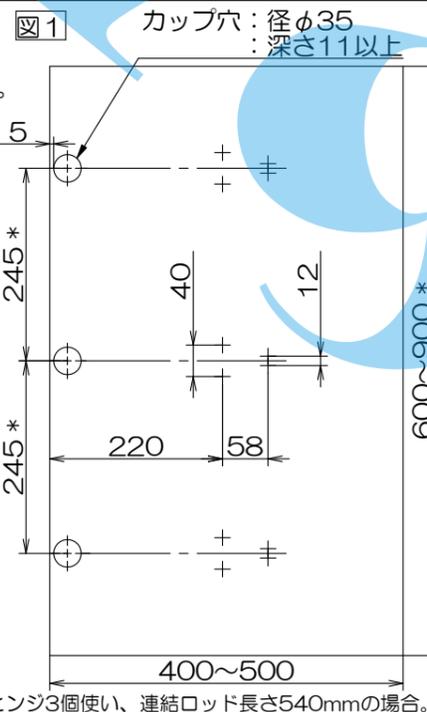
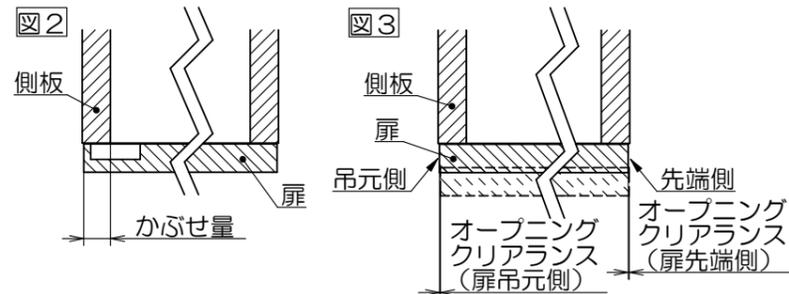
## ■かぶせ量とヒンジ本体取付位置

●ヒンジ本体取付位置及びカップ穴を、図1を参照して扉を加工してください。ヒンジ取付ピッチは、下記の計算式を目安としてください。

取付ピッチ (最大均等ピッチ) 計算式  

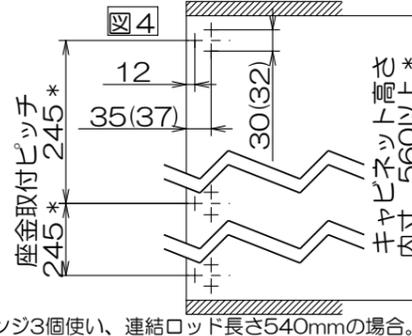
$$(\text{連結ロッド長さ} - 50\text{mm}) \div (\text{ヒンジ使用個数} - 1)$$

- かぶせ量(側板内面から扉吊元端面までの寸法 図2)は 19mm (座金仕様: 230-P4W-30T または 230-P4W-32T) 14mm (座金仕様: 230-P4W-30T+5 または 230-P4W-32T+5) の2種類が基本となっています。
- オープニングクリアランス 図3 (目地代) は扉吊元及び扉先端で 2mm程度必要です (扉先端側に向かって移動します) ので、十分考慮してください。



## ■座金の取付位置

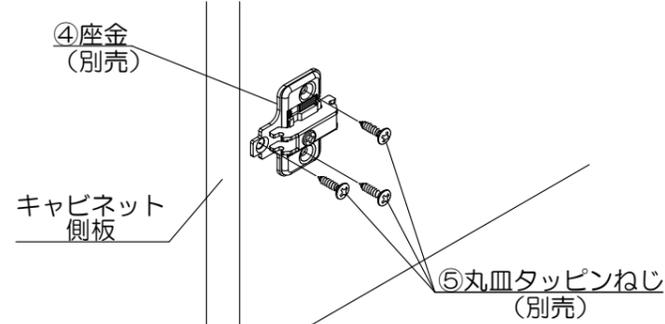
- 座金の取付位置を、図4を参照してキャビネットの側板を加工してください。図4の35mmおよび30mmは品番30Tの座金を使用する場合の寸法です。品番32Tの座金を使用する場合はそれぞれ( )内の寸法として下さい。
- 座金取付ピッチは、扉のヒンジ取付ピッチと同寸法として下さい。
- 連結ロッドはキャビネットの内部に収まるので、キャビネット高さの内寸は連結ロッド長さより20mm以上広い必要があります。扉閉時に連結ロッドがキャビネットや棚などにぶつからないよう取付前に現品にてご確認ください。
- 連結ロッドはキャビネット高さの中心に来るように取り付け、連結ロッドの端部からキャビネット面までのクリアランスが上下で等しくなるようにしてください。



## ■取付手順

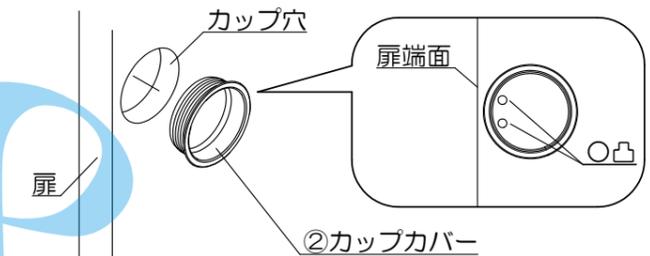
### 1 側板に座金を取り付ける。

- 扉の開き方向を確認のうえ、座金の面取穴3ヶ所を使用し、丸皿タッピンねじで座金をキャビネット側板に固定してください。



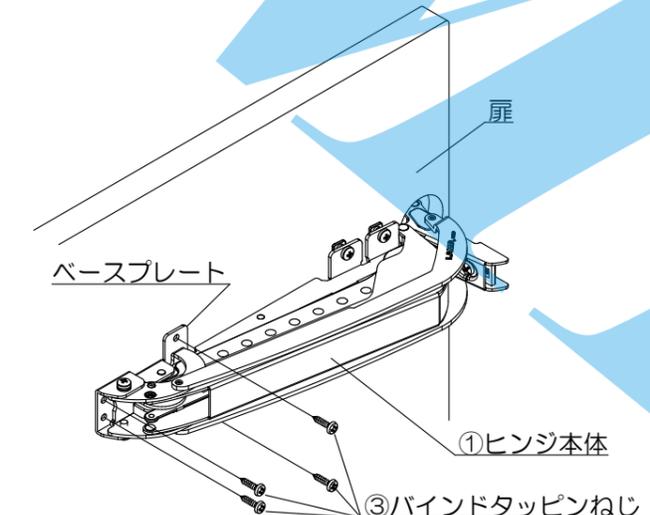
### 2 扉にカップカバーを取り付ける。

- 扉にカップカバーを押し込んで取り付けてください。
- 取付時にはカップカバーの方向に注意してください。(カップカバーのO凸を扉端面側に向けてください。)

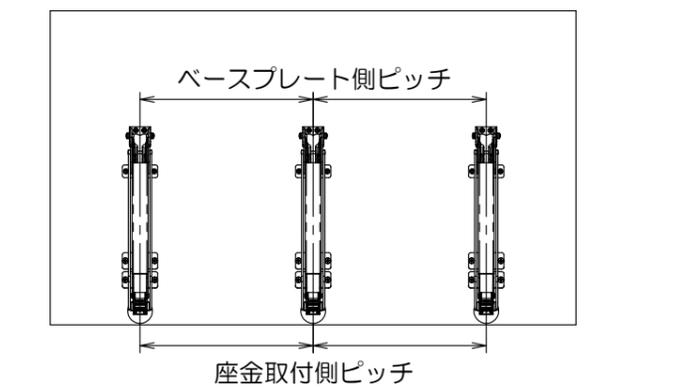


### 3 扉にヒンジ本体を取り付ける。

- ヒンジ本体に組み込まれているベースプレートの丸穴4ヶ所を使用し、バインドタッピンねじでヒンジ本体を扉に固定してください。
- キャッチ付きヒンジとキャッチ無しヒンジを組み合わせる場合、ヒンジ5個使いまでは基本的に以下のように取り付けてください。
  - ・扉の上端と下端には必ずキャッチ付きヒンジを取り付けてください。
  - ・ヒンジ4個使いの場合はキャッチ無しヒンジは下から2個目に、ヒンジ5個使いの場合はキャッチ無しヒンジは下から2個目と3個目に付けてください。

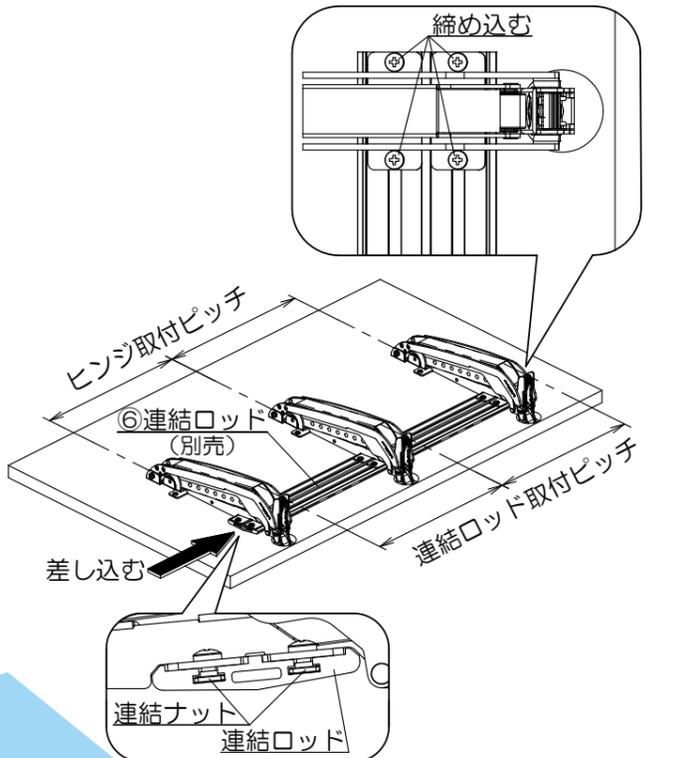


- ベースプレート側と座金取付側のヒンジ取付ピッチが等しくなるように調整してください。扉上下端面とヒンジ本体を平行に固定してください。



### 4 ヒンジ本体に連結ロッドを取り付ける。

- 連結ロッドの溝に連結ナットを差し込み、取り付けたいヒンジ本体を全て繋いでください。
- ヒンジ取付ピッチと連結ロッドの取付ピッチを正確に合わせ、ヒンジ本体に取り付いているねじ(4本)を締め込んで、連結ロッドを固定してください。



### 5 連結ロッドに連結ロッドカバーを取り付ける。

- 連結ロッドの両端に連結ロッドカバーを押し込んで取り付けてください。(ヒンジ本体に荷物が掛からないよう連結ロッドを押さえて取り付けてください。)

